

世界連邦宣言

いまひとつの世界を

自治体協新聞

発行 自治体協
世界連邦宣言 全国協議会
(事務局=綾部市)
〒623-8501綾部市若竹町8-1
TEL(0773)42-3280
FAX(0773)42-4406

中東和平、亀岡市を舞台に

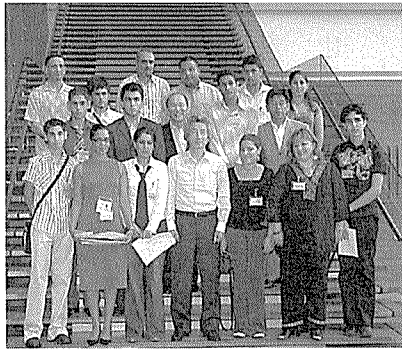
過去34人が日本を訪問

平成15年綾部市を中心に
た実行委員会の手で産声を上
げた「中東和平プロジェクト」。
平成16年は岡山市、昨年は徳
島市へと引き継がれ今年夏は、
京都府亀岡市で開催する予定
で準備が進んでいます。

このプロジェクトは、混迷
と紛争が続くイスラエルとパ
レスチナの和平が、世界平和
につながるのの理念で始まっ
たもの。自治体や住民が主体
となって取り組む「草の根の
和平活動」として、全国や全
世界から注目を浴びています。
戦争やテロで肉親を失った
イスラエルとパレスチナの子
どもを日本に招致。傷ついた
心を癒し、平和の尊さや相互
の理解を深めてもらうことが
目的。過去に34人の子どもが

日本を訪れ、多くの成果と太
い絆を結んできました。

テルアビブ空港まで帰国し
たイスラエルの子どもたちが、
同行したパレスチナの子ども
たちの2時間にも及ぶ入国手
続きを待ち続けたとか、帰国
後定期的にメンバーが交流会
を継続しているとか、父親を
失い笑顔の無かった少女に微
笑みが戻ったなど、心温まる
エピソードも数多く報告され
ています。



昨年8月18日、中東徳島のメンバーが首相官邸を訪問

また、小泉首相とも面談し
「絶望は愚か者の結論。粘り
強く和平への努力を続けて欲
しい」(平成15年)「若い人た
ちが戦場に赴かなくてもいい
日本をつくるのが国是。イ
スラエルとパレスチナも和解
の心で、平和の歴史を実現さ
せて欲しい」(平成17年)な
どの激励を受けています。

厳しい中東の現状

現在の中東をめぐる情勢は、
2003年のロードマップの
提案以降、最大の難局にある
といえます。パレスチナ自治
政府の選挙において強硬派と
されてきたハマスが政権を握
ったことから国際社会の反発
が激しく、ハマスも対イスラ
エル政策を変更することがで
きない状況にあります。

一方、イスラエルもオルメ
ルト首相代行が、病に倒れた
シヤロン首相の国境線明確化
政策の継承を訴え、3月末の
選挙に勝利し、対立の構図が
鮮明になっています。

中東和平プロジェクトは平
和を望む立場から時宜を得た
取組ですが、越える壁も高い
といえるでしょう。

半世紀を越える平和の歴史

亀岡市は、旧亀岡町時代の
昭和27年、綾部市に次いで、
わが国で2番目に世界連邦宣
言を行なった自治体。人口は
約9万5000人。足利尊氏

や明智光秀ゆかりの地でもあ
ります。「ヒロシマに学ぶ親
子平和の旅」の実施、市民、
学生との協働による平和の歌
「うつくしもの」の製作など、
平和の取組を積極的に進めて
いる市です。

自治体協の活動報告

善意の募金860万円に

世界連邦宣言自治体全国協
議会では、活動の一環として
「世界平和と難民飢餓救済の
ための自治体職員1人100
円募金」を本年1月から3月
にかけて加盟自治体を始め、
全国約1000の自治体に対
して協力を要請しました。

3月末段階で146自治体
から、860万円の募金が寄
せられました。ご協力に感謝
申し上げます。ありがとうございました。

亀岡市へ500万円を

募金は、HCR協会とUN
ICEFに寄託。世界の難民
の保護・援助・発展途上国の
子ども・妊婦らの保健衛生や
教育などに役立てられてきま

した。また、平成16年の募金
から「世界平和の実現は中東
和平から」を基本理念に、中
東和平活動を支援。募金のう
ち500万円を事業実施する
自治体や実行委員会に補助。
今年度は、亀岡市で活用いた
だく予定です。

総会は8月に京都市で

当協議会の平成18年度総会
は、亀岡市を中心に開催され
る中東和平プロジェクトと連
携して、8月に京都市で開催
する計画。具体的な日程や会
場など、できるだけ早く決定し、
ご案内したいと考えています。
財政難や合併など、自治体
を取り巻く環境は、厳しいも
のがありますが、当協議会の
活性化のため、会員各位の積
極的なご参加をお願いします。

第34回世界連邦ポスター・作文コンクール結果

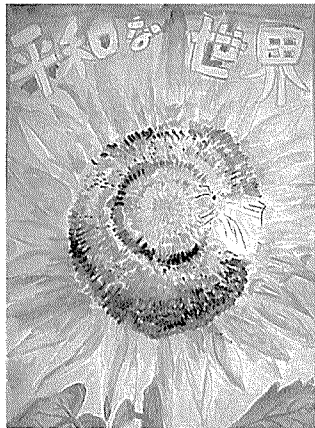
4869点の応募

34回を数える『世界連邦推進全国小・中学生ポスター・作文コンクール』。今年は全国からポスター3195点、作文1674点、計4869点の応募がありました。審査の結果、特選3点、入選10点がそれぞれ選ばれました。

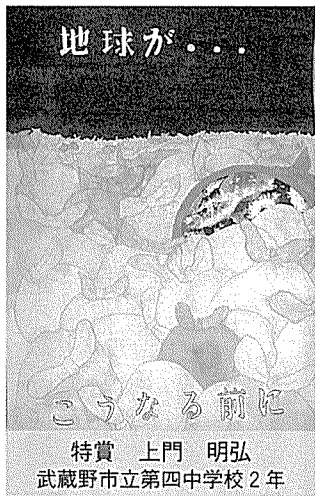
ポスターの部特賞は、玉川学園小学部2年石井秀昌くん、京都市立西陣中央小学校5年奥村藍生さん、武蔵野市立第四中学校2年上門明弘くんの3人。作文の部は、加古川市立氷丘南小学校3年栗原広樹くん、ノートルダム学院小学5年加口瑠璃子さん、山形大学附属中学校3年天笠悠理



特賞 石井 秀昌
玉川学園小学部2年



特賞 奥村 藍生
京都市立西陣中央小学校5年



特賞 上門 明弘
武蔵野市立第四中学校2年

さんの3人でした。

作文の部、特賞の栗原広樹くんの作品を紹介します。

『せんそうは命を 食べる生き物だ』

夏休みの宿題で、「戦争を無くそう」とか、「世界平和」について作文を書くことになったけど、僕は正直言って戦争のことは、今まで何も知りませんでした。ちょうどその頃、本屋さんである本を偶然目にしました。それは『被爆者』という題のしわしわのおばあさんの顔だけが大きく大きく表紙に写った一冊の本でした。ちょうど今から60年前、広島や長崎に原爆が落とされて、20万人以上の人々が命を

落としたそうです。そして戦争が終わって60年がたった今でも、原爆で大きな傷をおった大勢の被爆者たちが、その苦しみを背負いながら生き続けていらしいのです。その中には、原爆のせいでガンになっちゃったおじいさんや子どものころ、1年9か月もの間やけどがひどくて寝たきりだったというおじいさんや若いころに美しい女性で良く男性にもてたのに、原爆のせいで化物物のような顔になっちゃったおばあさんの写真や話が載せられてありました。そのおばあさんの口は、まるで妖怪の二口女のように大きく脹れ上がっていました。僕は、次々と大怪我をしたおじ

いさんやおばあさんの顔や体を見て、少し恐かったけど、本当にかわいそうだなあと思いました。今、昔戦争をしてきた日本人もアメリカ人にもものすごく腹が立ちます。例え戦争で勝っても、それが多くの人々の命と引換えに勝ったのだとしたら、それは絶対にやってはいけないことです。暴力で生まれてくるのは、怒りや、憎しみだけだと思います。僕には昔戦争をしていた人たちの気持ちがよくわかりません。戦争は、命を食べる恐ろしい生き物です。世界中の皆が、これから平和に暮していくためには、これから大人になつていく僕たちが、このおじいさんやおばあさんの深く悲しい心と体の傷を背負って、将来自分の子どもたちにも必ず伝えていかなければならないと強く思いました。



編集室から

世界連邦運動ってなに？

新年度が始まり、異動などで新たに担当になられた人もいらつしやると思います。

「世界連邦運動」って一体なんなの？って思っておられる人も多いことでしょう。

この運動は、あらゆる差別や搾取、迫害、戦争から人類を守り、新しい世界の秩序による新しい世界を創造しようというもの。各国の自主独立を認めつつ、一国では解決できない地球的規模の問題を解決しようとする運動です。

国内では、世界連邦宣言自治体全国協議会（四方八洲男会長・綾部市長）を始めとし、世界連邦運動協会（植木光教会長）、世界連邦日本国委員会（森山真弓会長）、世界連邦全国婦人協議会（湯川スミ会長）世界連邦日本宗教委員会（広瀬静水会長）の5団体が連携して活動しています。当協議会へのご意見やご提案をお待ちしています。事務局までご連絡ください。